

令和 8 年度アイヌ工芸品担い手育成事業委託業務
落札者決定基準

令和 8 年(2026 年) 4 月 8 日

北海道環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課

1 落札者決定基準の位置付け

この落札者決定基準は、北海道が実施する令和 8 年度アイヌ工芸品担い手育成事業委託業務（以下「業務」という。）の総合評価競争入札に係る申込みをした者のうち、価格その他の条件が最も有利なものを決定するための基準を示すものである。

2 総合評価による落札者の決定方法

入札書に記載された業務の入札価格が予定価格の制限の範囲内にある者のうち、入札価格に係る評価点（以下「価格評価点」という。）と入札価格以外の要素に係る評価点（以下「技術評価点」という。）を合計して得た数値が最も高い入札者（以下「最も有利な入札者」という。）を落札者とする。

この場合において、もっとも有利な入札者が 2 人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて落札者を決定する。なお、当該入札者のうち出席しない者又はくじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係のない職員に、これに代わってくじを引かせ落札者を決定する。

3 価格評価点

価格評価点は、入札価格を予定価格で除して得た値を 1 から減じた値に、価格評価点の得点配分を乗じて得た数値（小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位止めとする。）とする。

$$\text{価格評価点} = (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格}) \times \text{価格評価点の得点配分}$$

4 技術評価点

技術評価点は、別紙「令和 8 年度アイヌ工芸品担い手育成事業委託業務技術評価点評価項目、評価基準及び配点」（以下「評価基準」という。）に基づき、本基準の第 5 項に定めるところにより評価基準に記載する評価項目毎に評価を行い、各評価項目の得点を合計して得た数値とする。

5 技術評価点の評価方法

- (1) 技術評価点の評価は、道が設置した令和 8 年度アイヌ工芸品担い手育成事業委託業務の契約に係る総合評価審査会において審査する。
- (2) 1 次評価においては、評価基準に記載する必須の評価項目が要求水準を満たして

いるか否かを事務局が判定し、これを満たしているものには評価基準に基づき基礎点を与え、1項目でも要求水準を満たしていない場合、その時点で失格とする。

(3) 2次評価においては、加点項目について、その提案内容に応じて審査を行い、評価基準に示す点数の配点に基づき加点する。

(4) 技術評価点は、総合評価審査会の各構成員の採点の平均点をもってその得点とする。
(小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位止めとする。)

6 価格評価点と技術評価点の配分得点

価格評価点と技術評価点の配分得点は次のとおりとする。

なお、価格評価点と技術評価点の配分については、厳しい道財政を踏まえ、価格評価が重要であるとともに、入札者の提案内容によって当該業務の成果に大きく影響を受けるため、技術評価点についても重視する必要があることから、その配分割合は、
価格評価点：技術評価点＝1：4とする。

区分	価格評価点の配分得点	技術評価点の配分得点	合計
配点	30点	120点 うち基礎点 20点 うち加点 100点	150点

令和 8 年度アイ工芸品担い手育成事業委託業務 技術評価点評価項目、評価基準及び配点

評価項目		評価 区分	得点配分		評価の視点
			基礎点	加点	
業務 遂 行 能 力	実施体制・ 業務遂行能力	必須	10		業務実施体制、役割（責任者、人員、組織図など）が記載され、提案内容が確実に実施される体制を有していると認められるか。
		加点		5	業務を実施するにあたり、アイヌの文化及び工芸品に関する知識を有しているか。
		加点		5	本事業で実施する業務内容に関し、十分な実績を有し、関連業務のノウハウを有する事業者とのネットワークを有しているか。
		加点		5	業務を効率的かつ効果的に実施できるよう、適切なスケジュールとなっているか。
	小計		10	15	
企画 提案 内 容	教育機関など への働きかけ による学習・ 制作体験	必須	5		企画提案指示書に記載の内容について不足がないか。
		加点		10	アイヌ工芸品に興味・関心を持つ若者に向けた技術伝承の場や機会として適切であり、若者が積極的に参加できるような講座内容となっているか。
		加点		5	成果発表の方法について、多くの方に見てもらい、アイヌ工芸の興味・関心が得られるよう効果的な内容となっているか。
	若手工芸家 向けスキル アップ講座	必須	5		企画提案指示書に記載の内容について不足がないか。
		加点		15	新商品開発の過程を通じて「売れる商品づくり」を体系的に学ぶことができるよう、実践的かつ効果的な講座内容となっているか。
		加点		15	講師や協力企業の選定は、講座を円滑かつ効果的に進めるために適した提案となっているか。
		加点		10	講座を通じて、参加者のスキル向上が図られ、今後の創作活動や販路拡大につながることを期待できる内容となっているか。
		加点		10	工芸家、講師、協力企業等、関係者との連携が十分に図られる提案となっているか。
		加点		10	商品開発に向けた作業が円滑に進むよう、相談・フォロー体制など、適切な支援体制となっているか。
		加点		10	テスト販売の方法は、商品性、ターゲット適合性、価格、陳列・販売方法等を検証するうえで効果的な内容となっているか。
	小計		10	85	
合計		20	100		

【採点方法】

基礎点（事務局審査）

評価	配点
必要項目が記載されている	10点
必要項目が記載されていない	失格

加点（審査員審査）

評価	配点(5点満点)	配点(10点満点)	配点(15点満点)
非常に優れている	5点	10点	15点
優れている	4点	7点	11点
標準的である	3点	5点	8点
やや劣っている	2点	3点	4点
劣っている	0点	0点	0点